

算数科 授業改善推進プラン

1 観点ごとの児童の実態・学習効果測定結果の分析

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
知識及び技能	<ul style="list-style-type: none"> ○たし算・ひき算の意味や計算の仕方をよく理解して、生活の中で使っている児童がいます。 ○たし算やひき算では具体物から半具体物のブロックに置き換えて数の構成を理解することができました。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ほとんどの児童が数の相対的な大きさについて理解することができています。 ○長さやかさ、時間等の単位の関係理解が不十分な児童がいます。 ○ものさし、定規の使い方が身に付いた児童もいますが、正確にはかかれなかったり、真っ直ぐに線を引けなかったりする児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○量感がきちんと身につけている児童とそうでない児童がいます。 ○計算の順序理解が不十分な児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を大幅に上回っています。 ○数と計算が理解できていない児童が多くいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を上回っています。 ○分数や角の大きさが不十分な児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を下回っています。 ○面積、分数、小数に関する理解が不十分な児童がいます。
思考力, 判断力, 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ○身の回りにあるものの長さに着目して、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりすることができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○新しい課題に対して、既習の考えを用いて、図・式・答えを導くことができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○立式に使わない数字の入った文章題で、間違えた立式をする児童がいます。 ○自分の考えを論理的に説明することができる児童とそうでない児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を大幅に上回っています。 ○□を使った式では、理解している児童が多かったです。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を上回っています。 ○数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて計算の仕方を考えることができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を下回っています。 ○割合、比例・単位量あたりの大きさの理解が苦手な児童がいます。
学びに向かう力, 人間性	<ul style="list-style-type: none"> ○計算を楽しみながら意欲的に取り組んでいる児童が多くいます。 ○問題をよく読まずに取り組んだり、正しく理解できなかったりする児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算や測定を楽しみながら、意欲的に取り組める児童が多く見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○計算や測定を楽しみながら、意欲的に取り組める児童が多く見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を大幅に上回っています。数学のよさに気づき学習したことを生活や学習に活用しようとする児童が多く見られます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を下回っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ○目標値を下回っています。

2 課題と改善策、検証方法

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○問題をよく読まずに取り組んだり、正しく理解できなかつたりする児童がいます。 ○たし算・ひき算をする時に指を使って、数の増減を確認して計算している児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○たし算は定着していますが、ひき算は定着が不十分な児童がいます。 ○新しい課題に対して、既習の考えを用いて解決することができる児童とそうでない児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「時間」「長さ」などの量感がきちんと身につけていない児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○小数第一位+整数の計算が不十分な児童がいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○角の大きさで角の大きさの目盛りの読み取りや見当をつけることに差が大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○分数、小数、面積、体積の基礎の定着が不十分な児童がいます。
改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○問題の中で分かっていること、聞かれていることを確認します。 ○ブロックを使い、数の合成・分解の理解が深まるようにし、反復練習していきます。 ○計算カードを授業中や家庭学習で取り組むようにし、反復練習していきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○一人一人が十分に考えている時間を設定し、対話や話し合う場を設定します。 ○日常生活の中で、長さや傘、時間などの読み取りや単位の変換を繰り返していきます。 ○ICTを活用し、自分の考えを書き表す時の見本を具体的に示します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ノート指導や確認プリントを行い、個別指導を行っていきます。 ○算数以外の時間にも「時間」「長さ」を意識的に取り上げ、日常生活の中に取り入れることで理解を深めていきます。 ○習熟度別指導を活用し、児童の実態に応じた授業を展開することで、数量や図形についての技能を伸ばしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○プリント等を使い、計算問題に繰り返し取り組む時間を確保します。 ○タブレットドリルを使い苦手な問題などを繰り返し取り組むようにします。 ○テストの復習や補習、家庭学習を活用し、理解できるようにしていきます。補習、個別指導も行っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○図形間の関係や大きさを判断する際に、辺の長さだけでなく図形の角の大きさに着目して、図形を多面的に考察できるようにします。 ○タブレットドリルを使い苦手な問題などを繰り返し取り組むようにします。 ○習熟度別指導を活用し、児童の実態に応じた授業を展開することで、数量や図形についての技能を伸ばしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○児童に身近なものを教材として扱って関心をもたせ、日常的に振り返る機会を作るようにします。 ○プリントなどを使い、問題を繰り返し取り組む時間を確保していきます。 ○テストの復習や補習、家庭学習を活用し、理解できるようにしていきます。補習や個別指導も行っていきます。
検証方法	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に文章問題に取り組み、問題を正しく読み取れているかどうか確認していきます。 ○定期的にノートを回収して、児童の考え・学習を確認します。 ○タブレットによるステップ学習の活用、ワークテストで確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に考え方を書いたノートを回収して、具体的な書き方を繰り返し指導します。 ○ドリルやプリント等で定期的に単位の読み書きの定着を確かめます。 ○タブレットによるステップ学習の活用、ワークテストで確認します。 	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的にノートを回収し、計算の間違いない確認します。 ○給食準備にかかった時間、教室移動の時間などを取り上げたり、見た目で大体の長さがわかるように日常生活においても意識的に取り上げたりして体験しながら確かめていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京ベーシックテストやタブレットドリル、ワークテストなどで確認します。 ○定期的にノートを回収し、数量や図形についての技能が伸びているか確かめます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京ベーシックテストやタブレットドリル、ワークテストなどで確認します。 ○授業の中で、既習事項の確認をする場面を設け、繰り返し内容を確認していきます。 ○定期的にノートを回収し、数量や図形についての技能が伸びているか確かめます。 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京ベーシックテストやタブレットドリル、ワークテストなどで確認します。 ○授業の中で、既習事項の確認をする場面を設け、繰り返し内容を確認していきます。 ○定期的にノートを回収し、数量や図形についての技能が定着しているか確かめます。